

研究課題番号	1FS-2201
研究課題名	生物多様性と社会経済的要因の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究
研究代表者名（所属）	齊藤 修（公益財団法人地球環境戦略研究機関）
研究期間	2022年度
研究キーワード	生物多様性、生態系サービス、シナリオ分析、統合評価モデル

研究概要と成果

本研究は、既存の気候変動対策のための統合評価モデル、これまでに蓄積されてきた生物多様性の損失評価や生態系サービスの将来予測等に関する研究成果を基に、生物多様性、気候変動及び他の社会経済的要因を統合的に扱い、対策の効果を定量的に評価するための統合評価モデル構築に向けた一連の手続きを明らかにすることを目的として実施した。

生物多様性の4つの危機を考慮して、国土利用（第1、2の危機に関連）、栄養塩（第3の危機に関連）、気候変動（第4の危機に関連）を直接要因として設定し、それらを駆動する社会経済的要因（間接要因）と合わせて、それらによる生物多様性・生態系サービスへの影響を評価する枠組みを設定した（図-1）。さらに、生物多様性・生態系サービスの変化から社会経済へのフィードバックも視野に入れた。また、価値観・行動様式の変化が陸域や海域の利用や資源消費・管理に与える影響を介して、生物多様性と生態系サービスに与える影響をモデル化する手法を開発し、地域サイトにおいて適用する方法を提案した。

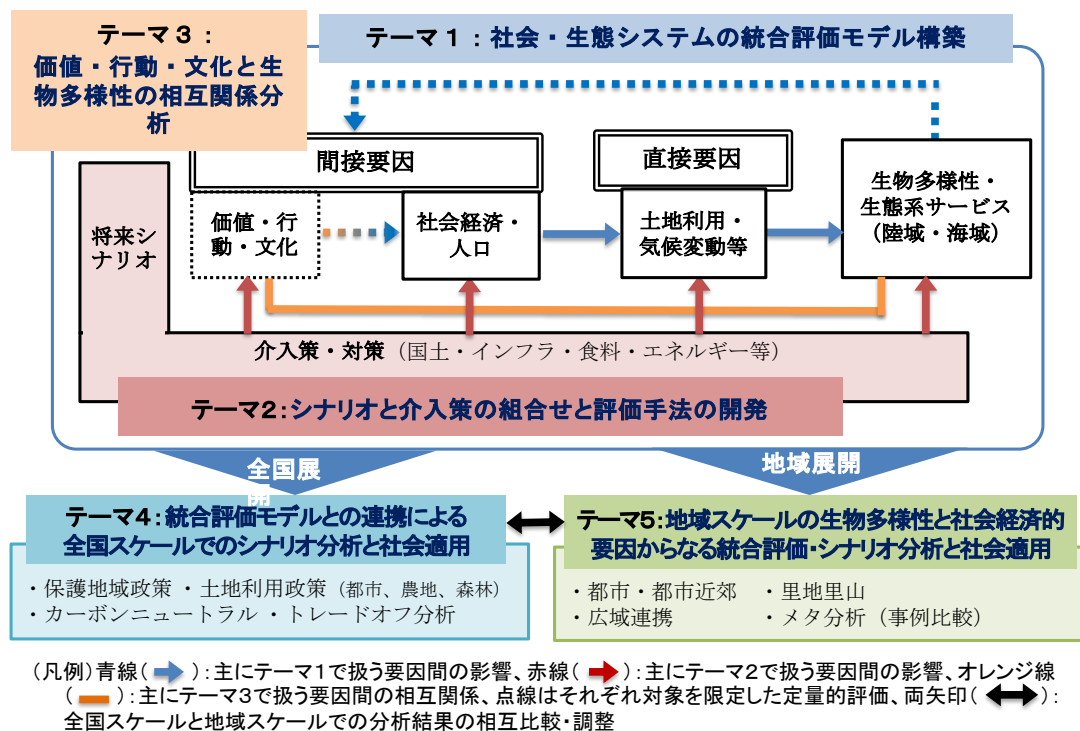


図-1本プロジェクトの全体構成

環境政策等への貢献

- ・昆明・モンテリオール生物多様性枠組みに対応した生物多様性国家戦略の見直し・生物多様性地域戦略の新規作成・見直しに貢献
- ・IPCCとIPBESの双方のアセスメントへの研究成果の反映
- ・主にアジア地域を対象とした統合評価モデルの国際展開を通して、国際的な科学-政策インターフェースの強化と能力形成に貢献